科目番号	53209	分類	専門科目 臨床看護学領域	履修者	看護科学コース （看護教育・研究者プログラム）	学年
科目名	精神看護学特論Ⅱ （ Advanced Course in Psychiatric Nursing 2 ）					1 配当セメスター 後期

担当者	○田中　留伊	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 精神保健上の問題を抱えた人々へのさまざまな治療的アプローチの理論と技法について、講義及び事例や最新の研究に関する学生自身のプレゼンテーション、討議を通して学ぶ。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
		3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
		4. 実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1・2回	オリエンテーション、主な精神疾患の病態と精神状態の検査と診断①②	田中
第3回	精神療法の基礎的理解　、看護カウンセリングとその技法	
第4回	心理社会的療法の基礎的理解、薬物療法の基礎的理解	
第5回	統合失調症の治療・看護と対象者の理解	
第6回	気分障害の治療・看護と対象者の理解	
第7回	摂食障害の治療・看護と対象者の理解	
第8回	児童思春期における治療・看護と対象者の理解	
第9回	アディクションの治療・看護と対象者の理解	
第10回	医療観察法における治療・看護と対象者の理解	
第11・12回	事例および研究の展開①②	
第13・14回	事例および研究の展開③④	
第15回	まとめ	

事前・事後学習	事前学習：各回の関連のある分野や事柄について調べ、資料を作成し臨むこと。 事後学習：授業内容を復習し、自らの考えを明確にし、看護職としての役割を実践できるように努めること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	プレゼンテーション（30%）　ディスカッション（20%）　レポート（50%） フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	随時参考資料を提示する。
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。